

米良新聞

111

松下幸之助氏に学ぶ

パナソニック創業100周年

旧年中は格別なご厚情を賜り、誠にありがとうございました。平成30年は戌年。戌年は守りの年。と言われます。商売ですから守りには入れません。お客様を守ります。定期訪問、細やかなフォローを心がけ信頼に繋げていく一年にして参ります。本年も宜しくお願い申し上げます。

創業100周年を迎えるパナソニック

2018年で創業100周年を迎える企業がパナソニックです。創業者の松下幸之助氏はよく知る経済界の一人です。私はもっと知りたくて大阪出張を利用して京都市にある松下史料館と大阪府門真の松下幸之助記念館（2017年10月31日にて閉館し、現在は新築中）へ行ってきました。昭和の成功者だと、しかし決して順調であったとは言えない事を知り、その時々の考え方の発想、転換、原点にもどることなど大変勉強になりました。今月は100周年を記念して、松下幸之助氏についてお届けしてまいります。

松下幸之助氏の生立ちを見てみましょう

1894年11月27日、和歌山県和歌山市禰宜にて8人兄弟の3男として出生。村では上位階級の小地主としてあつた。しかし、幸之助氏が4歳の時に父政楠が米相場に失敗し、転居することになる。和歌山市の現在雄湊小学校に入学。このころより長男、次男、次女が相次いで病没され、小学校4年の時に中途退学し、大阪の八幡筋の宮田火鉢店に奉公する。宮田火鉢店はたむことになり、五代自転車商会に移り奉公する。幸之助氏の商売の基礎となったところであり、後の自転車業にもつながる。写真は五代自転車商会の店主夫人とで、幸之助氏の最も古い写真である。幸之助氏は路面電車を見て、これは電気の時代が来ると確信し、電機の仕事をしてみたいと考える。

1910年 幸之助氏は路面電車を見て、これは電気の時代が来ると確信し、電機の仕事をしてみたいと考える。

1905年 幸之助氏の商売の基礎となったところであり、後の自転車業にもつながる。写真は五代自転車商会の店主夫人とで、幸之助氏の最も古い写真である。

1901年 和歌山市の現在雄湊小学校に入学。このころより長男、次男、次女が相次いで病没され、小学校4年の時に中途退学し、大阪の八幡筋の宮田火鉢店に奉公する。

1900年 幸之助氏は路面電車を見て、これは電気の時代が来ると確信し、電機の仕事をしてみたいと考える。

1913年 関西工学校の夜学に通う。予科に入学。同僚に刺激を受け、予科の勧めで大阪松島の八千代座と姉の勧めで井植むめのさんと結婚。9月4日に井植むめのさんと結婚。

1915年 松下電器器具製作所を総業。1917年会社を移す。健康が続き、仕事にも満足できない。大阪市福島区に改良アタッシュケースを製造販売開始する。プラグメンを開発する。発売当初売れず。窮地に立つが、実演販売を実施する。これが成功して販売が拡大する。

1929年 松下電器製作所に改称する。同時に綱領・信条を制定し経営をすすめる。世界恐慌のあおりを受け、減らすことと不振が続くが、社員を減らすことなく不況打開策を社員と打ち續けて、この苦難を乗り越えることに成功する。

1932年 天理教の本部を見学、そこにいる教団員を見て無償で喜びに満ち溢れ、働き姿に感銘を受ける。満ち溢る事業経営の在り方を考え、真使命に目覚める。同年5月5日第一回創業記念式を挙行する。翌年には事業部組織を採用。さらに翌年には株式会社を改組し、分社化する。松下飛行機株式会社に設立。

1943年 終戦とともに民需復活の宣言をし、社員に日本の再建を訴える。11月3日国民生活の窮地を打破し、日本に繁栄と平和と幸福を招く活動がしたいとPHP研究所を設立し、所長に就任する。

1946年 朝鮮戦争による軍事景気をうけ、アメリカ、欧州へ海外視察する。1952年にはオランダのフィリップス社と技術提携し、合併会社として松下電子工業を発足する。電化ブームを予測し、220億円。あった売り上げを5年で800億円まであげようという大構想の「5カ年計画」を発表する。実際には目標を軽く到達して1000億円を超える実績をのこすことになった。

1961年 松下電器社長を退き、会長に就任。この時に昭和25年から休止していたPHP研究所を再開する。

1913年 関西工学校の夜学に通う。予科に入学。同僚に刺激を受け、予科の勧めで大阪松島の八千代座と姉の勧めで井植むめのさんと結婚。9月4日に井植むめのさんと結婚。

1915年 松下電器器具製作所を総業。1917年会社を移す。健康が続き、仕事にも満足できない。大阪市福島区に改良アタッシュケースを製造販売開始する。プラグメンを開発する。発売当初売れず。窮地に立つが、実演販売を実施する。これが成功して販売が拡大する。

1929年 松下電器製作所に改称する。同時に綱領・信条を制定し経営をすすめる。世界恐慌のあおりを受け、減らすことと不振が続くが、社員を減らすことなく不況打開策を社員と打ち續けて、この苦難を乗り越えることに成功する。

1932年 天理教の本部を見学、そこにいる教団員を見て無償で喜びに満ち溢れ、働き姿に感銘を受ける。満ち溢る事業経営の在り方を考え、真使命に目覚める。同年5月5日第一回創業記念式を挙行する。翌年には事業部組織を採用。さらに翌年には株式会社を改組し、分社化する。松下飛行機株式会社に設立。

1943年 終戦とともに民需復活の宣言をし、社員に日本の再建を訴える。11月3日国民生活の窮地を打破し、日本に繁栄と平和と幸福を招く活動がしたいとPHP研究所を設立し、所長に就任する。

1946年 朝鮮戦争による軍事景気をうけ、アメリカ、欧州へ海外視察する。1952年にはオランダのフィリップス社と技術提携し、合併会社として松下電子工業を発足する。電化ブームを予測し、220億円。あった売り上げを5年で800億円まであげようという大構想の「5カ年計画」を発表する。実際には目標を軽く到達して1000億円を超える実績をのこすことになった。

1961年 松下電器社長を退き、会長に就任。この時に昭和25年から休止していたPHP研究所を再開する。

1913年 関西工学校の夜学に通う。予科に入学。同僚に刺激を受け、予科の勧めで大阪松島の八千代座と姉の勧めで井植むめのさんと結婚。9月4日に井植むめのさんと結婚。

1915年 松下電器器具製作所を総業。1917年会社を移す。健康が続き、仕事にも満足できない。大阪市福島区に改良アタッシュケースを製造販売開始する。プラグメンを開発する。発売当初売れず。窮地に立つが、実演販売を実施する。これが成功して販売が拡大する。

1929年 松下電器製作所に改称する。同時に綱領・信条を制定し経営をすすめる。世界恐慌のあおりを受け、減らすことと不振が続くが、社員を減らすことなく不況打開策を社員と打ち續けて、この苦難を乗り越えることに成功する。

1932年 天理教の本部を見学、そこにいる教団員を見て無償で喜びに満ち溢れ、働き姿に感銘を受ける。満ち溢る事業経営の在り方を考え、真使命に目覚める。同年5月5日第一回創業記念式を挙行する。翌年には事業部組織を採用。さらに翌年には株式会社を改組し、分社化する。松下飛行機株式会社に設立。

1943年 終戦とともに民需復活の宣言をし、社員に日本の再建を訴える。11月3日国民生活の窮地を打破し、日本に繁栄と平和と幸福を招く活動がしたいとPHP研究所を設立し、所長に就任する。

1946年 朝鮮戦争による軍事景気をうけ、アメリカ、欧州へ海外視察する。1952年にはオランダのフィリップス社と技術提携し、合併会社として松下電子工業を発足する。電化ブームを予測し、220億円。あった売り上げを5年で800億円まであげようという大構想の「5カ年計画」を発表する。実際には目標を軽く到達して1000億円を超える実績をのこすことになった。

1961年 松下電器社長を退き、会長に就任。この時に昭和25年から休止していたPHP研究所を再開する。

1913年 関西工学校の夜学に通う。予科に入学。同僚に刺激を受け、予科の勧めで大阪松島の八千代座と姉の勧めで井植むめのさんと結婚。9月4日に井植むめのさんと結婚。

1915年 松下電器器具製作所を総業。1917年会社を移す。健康が続き、仕事にも満足できない。大阪市福島区に改良アタッシュケースを製造販売開始する。プラグメンを開発する。発売当初売れず。窮地に立つが、実演販売を実施する。これが成功して販売が拡大する。

1929年 松下電器製作所に改称する。同時に綱領・信条を制定し経営をすすめる。世界恐慌のあおりを受け、減らすことと不振が続くが、社員を減らすことなく不況打開策を社員と打ち續けて、この苦難を乗り越えることに成功する。

1932年 天理教の本部を見学、そこにいる教団員を見て無償で喜びに満ち溢れ、働き姿に感銘を受ける。満ち溢る事業経営の在り方を考え、真使命に目覚める。同年5月5日第一回創業記念式を挙行する。翌年には事業部組織を採用。さらに翌年には株式会社を改組し、分社化する。松下飛行機株式会社に設立。

1943年 終戦とともに民需復活の宣言をし、社員に日本の再建を訴える。11月3日国民生活の窮地を打破し、日本に繁栄と平和と幸福を招く活動がしたいとPHP研究所を設立し、所長に就任する。

1946年 朝鮮戦争による軍事景気をうけ、アメリカ、欧州へ海外視察する。1952年にはオランダのフィリップス社と技術提携し、合併会社として松下電子工業を発足する。電化ブームを予測し、220億円。あった売り上げを5年で800億円まであげようという大構想の「5カ年計画」を発表する。実際には目標を軽く到達して1000億円を超える実績をのこすことになった。

1961年 松下電器社長を退き、会長に就任。この時に昭和25年から休止していたPHP研究所を再開する。

松下幸之助の「仕事哲学」

「仕事哲学」の中から一部ですが、仕事哲学」についてご紹介します。

松下幸之助の仕事哲学

Konosuke Matsushita's Philosophy on Work
松下幸之助の仕事哲学

徳は実利に結びつく
Moral leads through to actual benefits.

仕事に惚れこむ
Love your job.

成功するまで続ける
Persisting until you succeed.

一日の遅れは一年の遅れ
One day's delay is a year's delay.

カンと科学は車の両輪
Intuition and science are the two wheels of a car.

① 仕事に惚れ込む。その分、仕事に没頭する。それが、成功の第一歩である。仕事に没頭すると、自然と創意工夫が湧き出してくる。そして、それが、競争優位の源泉となる。

② 徳は実利に結びつく。徳を積み重ねると、必ずしも実利が得られるとは限らない。しかし、徳を積み重ねると、周囲からの信頼が得られ、それが、長期的な成功につながる。

③ 仕事に惚れこむ。仕事に惚れこむとは、仕事に情熱を注ぎ、仕事に没頭することである。仕事に惚れこむと、仕事に没頭すると、自然と創意工夫が湧き出してくる。そして、それが、競争優位の源泉となる。

④ 成功するまで続ける。成功するまで続けるとは、途中で諦めず、最後までやり遂げることを意味する。成功するまで続けることは、成功の鍵となる。

⑤ 一日の遅れは一年の遅れ。一日の遅れは一年の遅れとは、小さな遅れが積み重なると、大きな遅れにつながることを意味する。一日の遅れは一年の遅れを恐るべきである。

⑥ カンと科学は車の両輪。カンと科学は車の両輪とは、感性と理性の両方を大切にすることを意味する。カンと科学は車の両輪を大切にすることで、成功につながる。

① 仕事に惚れ込む。その分、仕事に没頭する。それが、成功の第一歩である。仕事に没頭すると、自然と創意工夫が湧き出してくる。そして、それが、競争優位の源泉となる。

② 徳は実利に結びつく。徳を積み重ねると、必ずしも実利が得られるとは限らない。しかし、徳を積み重ねると、周囲からの信頼が得られ、それが、長期的な成功につながる。

③ 仕事に惚れこむ。仕事に惚れこむとは、仕事に情熱を注ぎ、仕事に没頭することである。仕事に惚れこむと、仕事に没頭すると、自然と創意工夫が湧き出してくる。そして、それが、競争優位の源泉となる。

④ 成功するまで続ける。成功するまで続けるとは、途中で諦めず、最後までやり遂げることを意味する。成功するまで続けることは、成功の鍵となる。

⑤ 一日の遅れは一年の遅れ。一日の遅れは一年の遅れとは、小さな遅れが積み重なると、大きな遅れにつながることを意味する。一日の遅れは一年の遅れを恐るべきである。

⑥ カンと科学は車の両輪。カンと科学は車の両輪とは、感性と理性の両方を大切にすることを意味する。カンと科学は車の両輪を大切にすることで、成功につながる。

松下幸之助氏の「仕事哲学」から学ぶ

「仕事哲学」の中から一部ですが、仕事哲学」についてご紹介します。

松下幸之助の仕事哲学

Konosuke Matsushita's Philosophy on Work
松下幸之助の仕事哲学

徳は実利に結びつく
Moral leads through to actual benefits.

仕事に惚れこむ
Love your job.

成功するまで続ける
Persisting until you succeed.

一日の遅れは一年の遅れ
One day's delay is a year's delay.

カンと科学は車の両輪
Intuition and science are the two wheels of a car.

① 仕事に惚れ込む。その分、仕事に没頭する。それが、成功の第一歩である。仕事に没頭すると、自然と創意工夫が湧き出してくる。そして、それが、競争優位の源泉となる。

② 徳は実利に結びつく。徳を積み重ねると、必ずしも実利が得られるとは限らない。しかし、徳を積み重ねると、周囲からの信頼が得られ、それが、長期的な成功につながる。

③ 仕事に惚れこむ。仕事に惚れこむとは、仕事に情熱を注ぎ、仕事に没頭することである。仕事に惚れこむと、仕事に没頭すると、自然と創意工夫が湧き出してくる。そして、それが、競争優位の源泉となる。

④ 成功するまで続ける。成功するまで続けるとは、途中で諦めず、最後までやり遂げることを意味する。成功するまで続けることは、成功の鍵となる。

⑤ 一日の遅れは一年の遅れ。一日の遅れは一年の遅れとは、小さな遅れが積み重なると、大きな遅れにつながることを意味する。一日の遅れは一年の遅れを恐るべきである。

⑥ カンと科学は車の両輪。カンと科学は車の両輪とは、感性と理性の両方を大切にすることを意味する。カンと科学は車の両輪を大切にすることで、成功につながる。

松下幸之助氏 1989年死去 享年94歳

自分が一生懸命つくった商品を抱いて寝るくらい情熱があれば、必ず訴えてくる

素直

伊豆元 政吾